

平成30全国学力・学習状況調査結果 田辺市概要

平成30年4月17日に、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、小学6年生・中学3年生を対象とし、国語と算数/数学の「知識」に関するA問題と「活用」に関するB問題、理科から構成されています。

◇小学校6年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の領域別正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○



国語Aでは、田辺市において課題であったどの領域についても改善がみられ、全国平均を上回っています。全国でも正答率が5割を下回った問題「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」については、田辺市においても、全国の正答率を上回ってはいるものの、5割を下回っていました。国語Bでも、全ての領域について改善が見られています。一方で、全国でも5割を下回った問題「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」や「目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く」「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む」については、全国の正答率を上回ってはいるものの、5割を下回っていました。

算数Aでは、田辺市において昨年度課題であった「量と測定」については、改善が見られています。一方で「量と測定」領域の問題「単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している」や「数と計算」領域の問題「小数の除法の意味について理解している」については、課題がありました。算数Bでは、おおむね昨年度と同じ状況でしたが、「量と測定」の領域はやや低下していました。「メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる」や「棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる」問題については、全国でも課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。

◇中学3年生

▶和歌山県、全国と比較した田辺市の領域別正答率（単位：％） 3%以上高い◎ 3%以上低い▼ ほぼ同じ○



国語Aでは、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、改善がみられています。ただし、その中の「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」ことについては、全国でも課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。国語Bでは、どの領域についても改善が見られました。一方で「読むこと」の領域で、「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと」や「文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える」問題については、課題が見られました。

数学Aでは、どの領域についても改善が見られています。一方で、一次関数の意味を理解し、「歩いた道のりと、残りの道のりの関係」を求める問題では、全国でも課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。数学Bでは、全ての領域においても改善が見られています。一方で、「不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる」ことについては、全国的に課題が見られましたが、田辺市においても課題が見られました。

■学習状況調査の結果から

◇学校生活に関すること

本年度は、この項目の設問がありませんでした。

◇授業に関すること

(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合) (単位：％)

質問事項	小 6		中 3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
自分たちが立てた課題に対して、自ら考え自分から取り組みましたか	76.7	70.8	73.8	75.3
発表するとき、資料や文章、話の組み立てなど工夫しましたか。	61.0	55.4	53.8	51.8
話し合いを通じて、考えを深め、広げることができていると思いますか	77.7	74.8	76.3	81.9

対話を意識した授業づくりが多く为学校で行われるようになってきました。
 今後は、児童生徒自らが「何のために」という目的意識をもって取り組むことができる授業づくりをしています。

◇家庭学習に関すること

(「している」「どちらかといえばしている」と答えた割合) (単位：％)

質問事項	小 6		中 3	
	田辺市	全国	田辺市	全国
家で学校の宿題をしていますか	97.1	97.8	91.6	96.5
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.6	64.2	52.1	54.4
家で、学校の予習・復習をしていますか	62.6	64.6	55.2	56.7

家で自分で計画を立てて勉強していると答えた児童生徒の割合が増えています。
 児童生徒自らが計画を立てて学習できる力をつける取組を行います。

◇メディアとの関係

本年度は、この項目の設問がありませんでした。

■各学校の取り組み例

- ・調査の分析結果をもとに、授業力向上のための研修を行いました。
- ・ドリル学習（補充学習）の時間を設け、基礎的な学力向上のための取り組みを行いました。
- ・ドリル学習の成果を競い合い、基礎的な学力向上を図りました。
- ・家庭学習において、「自学ノート」に取り組み、学びを整理する力をつけるよう取り組みました。

■今後の取組

- ・教育委員会では、成果のあった学校の取り組みを分析し、各学校に周知します。
- ・各学校では、調査の分析結果をもとに、自校の取り組みを点検、改善を行います。